

小学校・第4学年・社会科・「廃棄物を処理する事業」①

鳴門教育大附属小学校提供

育成を目指す資質・能力

廃棄物を処理する事業について、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図や関係機関が作成した資料などで調べたりして図や文章などにまとめる。廃棄物を処理する事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現することを通して、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養う。

ICT活用のポイント

子供が問いに対して、自分の考えをまとめ、友達の考えと関連付けて整理する際にICT端末を活用することで、「自分の考えをまとめる→班で共有する→互いの考えを関連付けたり、整理したりして班の考えをまとめる」学習活動を効率よく行うことができる。

単元の学習過程

学習問題をつかむ

学習問題を追究する

まとめる

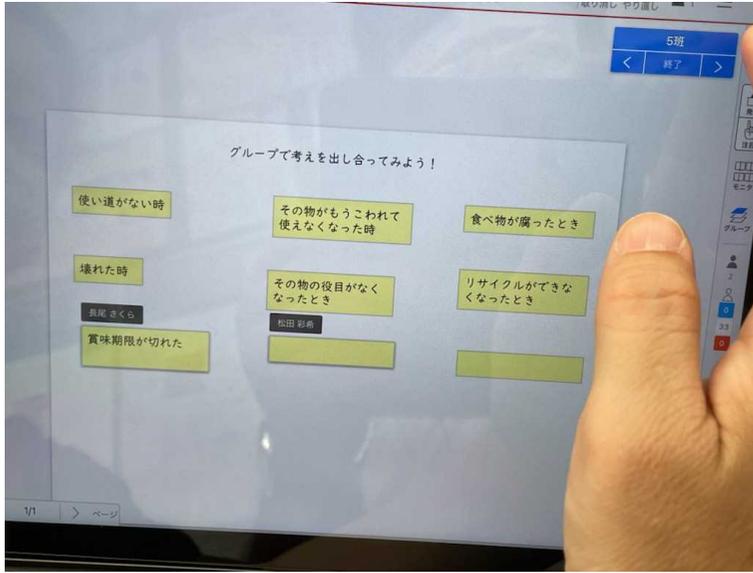
事例の概要

「互いの考えを共有し、関連付けたり整理したりする」場面において

- ① 問いに対する自分の考えをグループの画面に書き込む。班ごとの画面に各自で書き込んでいくため、書き込んだ考えはすぐに反映され、一人一人の考えが班ですぐに共有される。その結果、共有された友達の考えを参考にしてさらに自分の考えを書き込んだり、班の画面を見ながら、共通点・相違点を見つけたりしていくことができる。
- ② 共有された考えをグループで自由に動かしたり、書き込んだり、グルーピングしたりしながら話し合い、互いの考えを関連付ける。関連付けた考えを整理し、キーワードで整理したり、タイトルをつけて整理したりする。操作が容易であるため、子供は話し合いながら、操作し、試行錯誤することができる。（修正、加筆も同様。）また、この班の話し合いシートは学びの記録として保存することができる。
- ③ 班でまとめたシートは、個々がICT端末で見ることができるため、学級全体ですばやく共有化され、それにより互いの考えを確かめたり、自分の考えと比較したりすることで自分の考えを深めることができる。

小学校・第4学年・社会科・「廃棄物処理する事業」②

【ICT端末を活用し、考えをまとめ、共有する場面】



まずは、問いに対する自分の考えを書いていく。書いた考えは班のシートに反映され、すぐに全体に共有できる。

「壊れた」「使い道がなくなった」など、考えを読みながら、まとめ方を考える。

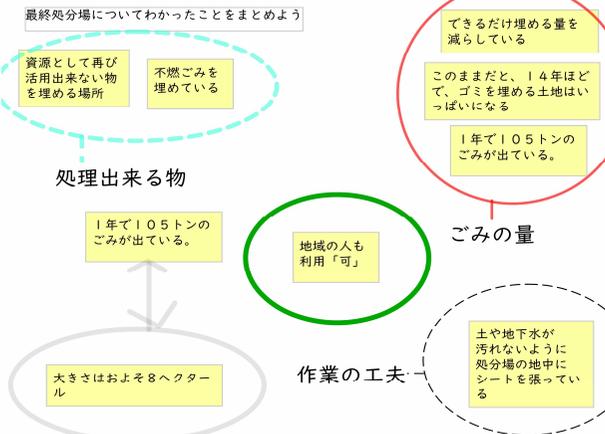
【考えをまとめ、共有する場面】

- 共同編集可能なシートを活用することで、
- ・自分の考えを書き、班の仲間に伝え、共有する。
 - ・自分の考えを書きながら、友達の考えを読む。
 - ・友達の考えを参考にしながら、自分の考えを書く。
 - ・互いの考えの共通点・相違点を見つける。
 - ・まとめ方を考える。

ICT活用のメリット

- 自分の考えを他者に伝えることができる。
- すぐに互いの考えを共有することができる。
- 考えの共通点・相違点を見つけることができる。

【共有した考えを基に、ICT端末を活用して関連付けたり整理したりする場面】



互いの考えを自由に動かしたり付け足したりしながら、最終処分場の働きについて「作業の工夫」、「処理できる物」など、端末上で互いの考えを関連付けたり整理したりして、班の考えをグルーピングしてまとめる。

【互いの考えを関連付けたり整理したりする場面】

- ・互いの考えをグルーピングするなど整理しながら、話し合いを進める。
- ・互いの意見を関連付けて話し合いを進める。
- ・互いの班のまとめを共有できる。
- ・発言が苦手な児童も、意欲的に自分の考えを表現できる。

ICT活用のメリット

- 関連付け、グルーピングなどが容易である。
- 操作しながら話し合いや考えの整理ができる。
- すぐに他班とまとめを共有できる。
- 学びの記録を残すことができる。

【活用したソフトや機能】 学習支援ソフト